



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 シノブフーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2903 URL <https://www.shinobufoods.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松本 崇志
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員 経営財務本部長（氏名） 長尾 正史（TEL）06(6477)0113
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月6日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	28,569	4.4	1,221	△8.0	1,249	△7.9	937	△4.1
2024年3月期中間期	27,368	7.9	1,327	46.6	1,356	46.3	977	40.3

（注）包括利益 2025年3月期中間期 931百万円（△4.6%） 2024年3月期中間期 975百万円（40.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	76.31	75.96
2024年3月期中間期	79.23	78.80

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	30,585	15,629	50.7
2024年3月期	30,435	14,959	48.8

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 15,507百万円 2024年3月期 14,863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.50	—	14.50	25.00
2025年3月期	—	12.50	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	12.50	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	2.1	2,480	4.7	2,500	3.7	1,700	45.6	135.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	13,000,000株	2024年3月期	13,000,000株
2025年3月期中間期	800,576株	2024年3月期	689,479株
2025年3月期中間期	12,291,974株	2024年3月期中間期	12,340,867株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復傾向が見られたものの、不安定な世界情勢に加え、物価の上昇や金融資本市場の変動リスクなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造卸販売しており、当社グループを取り巻く環境は、原材料やエネルギー価格の高止まり、消費者の節約志向の高まりなど引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画(2021年3月期～2025年3月期)を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人財戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、既存取引先様へ当社の製品ラインナップを幅広く提案するなど顧客のニーズに沿った営業活動を展開することで売上は堅調に推移し、なかでも生協様向けの夕食宅配弁当やカフェチェーン様向け商品の取引は順調に推移いたしました。また冷凍事業においては大阪工場に続いて2拠点目となる名古屋工場で冷凍惣菜・冷凍弁当の製造を拡大したほか、3拠点目となる関西工場に冷凍設備を新設するなど、事業拡大に向けた積極的な投資を行いました。

開発面では、商品力の強化と開発社員の技術向上をはかるため、社外から現役のシェフを講師として招いて勉強会を開催するとともに、「手作り感」や「出来立て感」をコンセプトに内製化をさらに進め、原材料の産地や製法など一品一品にこだわりを持たせた商品の開発に注力しております。また、原材料や製法に加えて包材やラベルなど、総合的な商品訴求力を持たせることで他社との差別化を図り、既存商品のブラッシュアップと新商品の提案を積極的に行いました。

コスト面では、原材料価格の上昇、労働コストの増加、エネルギー価格の高騰、物流コストの増加等が続いておりますが、これらを吸収するべく主要食材の調達方法の見直し、調理加工品アイテム数の削減や機械化による品質及び生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しに取り組むとともに、原材料の高騰を見据えた商品規格の見直しを継続して行っております。

人財面では、女性活躍推進プロジェクトチーム「WORK+」(ワークプラス)の活動を通じ、働きやすい環境を整えるなど人財の定着と確保に努めております。また、階層別の勉強会を実施し全工場のレベルアップや均一化に取り組みました。

環境面では、プラスチック使用量を削減するため、軽量化した発泡素材容器への切換えや、ラップレスによる簡易包装化を進めるなどCO₂排出量削減に取り組みました。また各事業所にて、地域の方々とともに清掃活動のボランティアに参加するなど、社会貢献活動に取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高285億6千9百万円(前年同中間期比4.4%増)、営業利益12億2千1百万円(前年同中間期比8.0%減)、経常利益12億4千9百万円(前年同中間期比7.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益9億3千7百万円(前年同中間期比4.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は、売掛金の増加を主因に前連結会計年度末に比べ1億4千9百万円増加し、305億8千5百万円となりました。当中間連結会計期間末の負債合計は、長期借入金の減少を主因に前連結会計年度末に比べ5億1千9百万円減少し、149億5千6百万円となりました。当中間連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益9億3千7百万円を計上する一方で、配当金の支払1億7千8百万円等により前連結会計年度末に比べ6億6千9百万円増加し、156億2千9百万円となりました。

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは12億6千2百万円の収入(前年同中間期比6億2千6百万円収入減)となりました。これは、主として税金等調整前中間純利益12億1千6百万円、減価償却費7億3千3百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、9億6千6百万円の支出(前年同中間期比2億8千4百万円支出増)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出9億1千3百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億5千2百万円の支出(前年同中間期比1千2百万円支出増)となりました。これは、主として借入れによる収入5億円、借入金の返済による支出9億6千4百万円、配当金の支払額1億7千8百万円によるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は、65億2千4百万円(前年同中間期比5億7千4百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に発表しました決算短信の通期の連結業績予想から変更は行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,981	6,524
売掛金	5,881	6,065
商品及び製品	31	35
原材料及び貯蔵品	279	305
その他	158	328
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,331	13,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,366	7,301
機械装置及び運搬具(純額)	2,688	2,875
土地	5,728	5,728
その他(純額)	430	531
有形固定資産合計	16,214	16,435
無形固定資産	146	176
投資その他の資産		
その他	746	718
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	743	714
固定資産合計	17,103	17,326
資産合計	30,435	30,585
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,088	4,286
1年内返済予定の長期借入金	1,864	1,934
未払金	2,568	2,401
未払法人税等	464	382
賞与引当金	333	358
その他	657	627
流動負債合計	9,977	9,992
固定負債		
長期借入金	5,398	4,863
その他	99	100
固定負債合計	5,498	4,963
負債合計	15,475	14,956

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	2,733	2,733
利益剰余金	7,773	8,532
自己株式	△430	△537
株主資本合計	14,769	15,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整累計額	94	85
その他の包括利益累計額合計	94	85
新株予約権	90	115
非支配株主持分	5	5
純資産合計	14,959	15,629
負債純資産合計	30,435	30,585

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	27,368	28,569
売上原価	23,282	24,280
売上総利益	4,085	4,288
販売費及び一般管理費	2,758	3,067
営業利益	1,327	1,221
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	38	37
その他	13	12
営業外収益合計	51	50
営業外費用		
支払利息	20	18
その他	2	4
営業外費用合計	22	23
経常利益	1,356	1,249
特別利益		
新株予約権戻入益	24	—
特別利益合計	24	—
特別損失		
固定資産除却損	13	32
特別損失合計	13	32
税金等調整前中間純利益	1,368	1,216
法人税、住民税及び事業税	380	257
法人税等調整額	9	19
法人税等合計	389	276
中間純利益	978	939
非支配株主に帰属する中間純利益	0	1
親会社株主に帰属する中間純利益	977	937

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	978	939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
退職給付に係る調整額	△2	△8
その他の包括利益合計	△2	△8
中間包括利益	975	931
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	975	929
非支配株主に係る中間包括利益	0	1

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,368	1,216
減価償却費	726	733
株式報酬費用	25	25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	26	25
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	3
受取利息及び受取配当金	△38	△37
支払利息	20	18
固定資産除却損	13	32
新株予約権戻入益	△24	—
売上債権の増減額(△は増加)	△468	△183
棚卸資産の増減額(△は増加)	△23	△29
仕入債務の増減額(△は減少)	401	198
未払消費税等の増減額(△は減少)	97	△112
その他の資産の増減額(△は増加)	△42	△196
その他の負債の増減額(△は減少)	97	△132
小計	2,185	1,575
利息及び配当金の受取額	38	37
利息の支払額	△20	△19
法人税等の支払額	△347	△366
法人税等の還付額	32	33
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,888	1,262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△691	△913
無形固定資産の取得による支出	△0	△52
その他の支出	△0	△0
その他の収入	11	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△681	△966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500	500
長期借入金の返済による支出	△1,026	△964
自己株式の取得による支出	△76	△106
配当金の支払額	△136	△178
非支配株主への配当金の支払額	—	△1
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△740	△752
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	466	△456
現金及び現金同等物の期首残高	6,633	6,981
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,099	6,524

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。